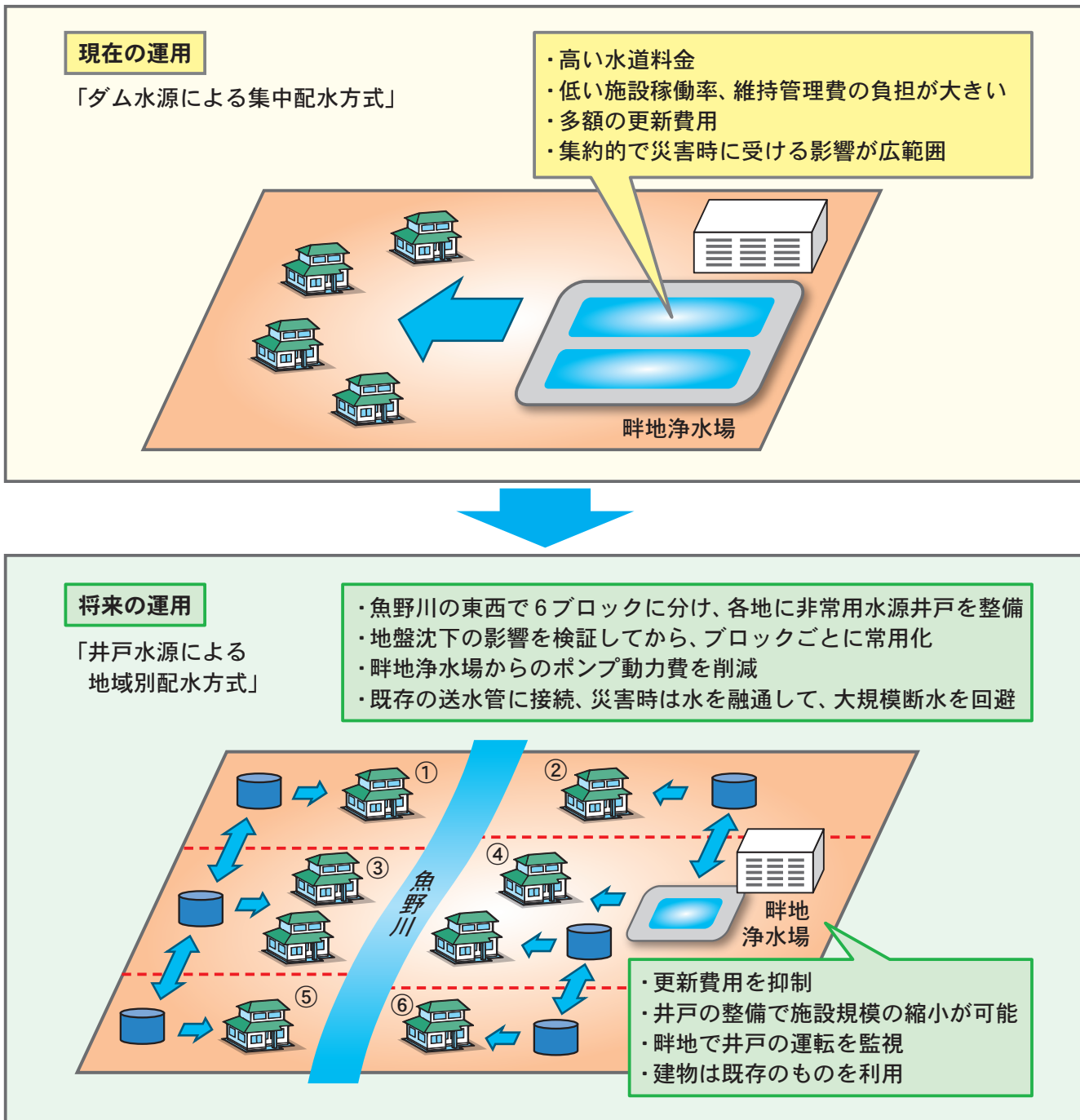


③ 畔地浄水場の将来運用と非常用水源

将来は、魚野川の東西を6ブロックに分け、それぞれに水源を確保して災害時の断水を回避します。加えて、将来の更新費用を抑えるためには、非常用水源井戸の常用化と浄水場の規模縮小または廃止が重要なポイントになります。

「水源の転換」に向けた整備計画イメージ図



非常用水源井戸は、畔地浄水場より標高が高く、ポンプ動力費の負担が大きい塩沢地域から進めています。上田、舞子、石打のさく井工事は完了しました。引き続き、稼働に必要な電気設備など施設整備を実施して、備えを充実させていきます。

整備済の非常用水源 4箇所（藪神、田崎、畔地、天野沢）

新規整備する非常用水源 7箇所（船ヶ沢、名木沢、大巻、二日町、舞子、上田、石打）

◆ 次回は、令和2年度水道事業会計決算についてお知らせします。